



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL https://www.nexon.co.jp/ir/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 政憲

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 (TEL) 03-6629-5318

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト及びメディア向けオンライン決算説明会)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	366,485	8.2	125,905	△3.3	154,580	△7.8	104,035	△8.1	102,819	△8.6	143,051	△17.9
2023年12月期第3四半期	338,779	24.3	130,199	40.4	167,589	7.1	113,206	5.4	112,496	4.2	174,299	37.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	123.06	122.48
2023年12月期第3四半期	131.77	130.83

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,236,733	1,005,685	994,137	80.4
2023年12月期	1,098,103	906,575	896,267	81.6

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2024年12月期	-	7.50	-		
2024年12月期(予想)				15.00	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,296	6.4	124,562	△7.6	157,252	24.9	104,477	47.0	103,288	46.3	123.83
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	461,204	8.9	133,072	△1.2	165,762	31.6	110,140	54.9	108,964	54.3	130.63

(注) 特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	841,790,912株	2023年12月期	857,453,260株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	12,293,862株	2023年12月期	15,809,545株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	835,507,469株	2023年12月期3Q	853,724,967株

(注) 期末自己株式数には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式が含まれております (2024年12月期3Q1,704,979株、2023年12月期1,088,506株)。また、当該連結子会社が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております (2024年12月期3Q1,340,906株、2023年12月期3Q1,064,912株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	13
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	16
(継続企業の前提に関する注記) .....	16
(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	16
(会計方針の変更) .....	16
(表示方法の変更) .....	16
(セグメント情報の注記) .....	17
(重要な後発事象) .....	23

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響による下振れリスク、中東地域における紛争の長期化など、先行き不透明な状況が続いております。我が国経済は、不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や、為替変動による物価の上昇などがあつたものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループは、ライブ運用を基盤とし、IP成長戦略に沿った組織改編を行っております。これにより主要IPを著しく成長させると共に、新たな大ヒット作の開発を進めてまいります。新たに策定したIP成長戦略は、垂直及び水平方向の成長で構成される戦略です。垂直方向の成長とは、『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)や『メイプルストーリー』(MapleStory)などの大ヒットフランチャイズを新しいコンテンツ、プラットフォーム、地域を通じて提供し、再活性化及び拡張することで成長させる戦略です。この戦略の重要な要素として、市場間の文化的違いを認識し、各地域のプレイヤーの好みに合わせてコンテンツをカスタマイズするハイパー・ローカライゼーションが含まれます。また、水平方向の成長とは、『マビノギ』など、当社グループのその他のゲームフランチャイズ、また『ARC Raiders』など開発中の新作から新たな大ヒット作を創出することを重点としております。

当第3四半期連結累計期間においては、5月21日に中国で配信を開始した『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の増収寄与により、三大フランチャイズである『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)、『メイプルストーリー』(MapleStory)及び『EA SPORTS FC™』の総売上収益が成長いたしました。また、7月2日に配信を開始した『The First Descendant』が大きく増収寄与した結果、過去最高の第3四半期連結累計期間の売上収益を達成いたしました。主要フランチャイズ別の売上収益は、以下のとおりです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、フランチャイズを中国のモバイル市場に展開することで、多くの新規プレイヤーの獲得だけでなく、PC版の休眠ユーザーの掘り起こしに成功いたしました。その結果、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で成長いたしました。5月21日に中国で配信を開始した『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)においては、中国のファンの好みに合わせたローカライズを行った結果、ローンチ直後に想定を超えるプレイヤーエンゲージメントを引き出すことに成功した一方で、当第3四半期連結会計期間においては売上収益が想定どおり落ち着いてまいりました。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、2023年12月にゲーム内の経済バランスが悪化して以降、売上収益及びアクティブユーザー数の回復に向けて継続してバランス改善及びプレイヤーエンゲージメントの向上に取り組んでおります。しかし、売上収益が成長軌道に戻るにはまだ時間を要する見込みであり、前年同期比で減少いたしました。

『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、既存ゲームのライブ運用を改善すると共に、ハイパー・ローカライゼーション戦略による地域展開や、IPを新作ゲームとして拡張する取組みを行っております。しかし、韓国におけるPC版の大型アップデートや中国におけるモバイル版の配信開始により、フランチャイズ全体として過去最高の第3四半期連結累計期間の売上収益を記録した前年同期の高い水準との比較で売上収益が減少いたしました。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)では、1月以降、一部のアイテムの課金施策を変更するなど、プレイヤーエンゲージメント改善に努めたものの、売上収益は前年同期比で減少いたしました。一方で、韓国以外の地域においては、各地域のプレイヤー嗜好に合わせた地域独自のコンテンツ開発やイベント及びプロモーションを行うハイパー・ローカライゼーション戦略が功を奏し、前年同期比で成長いたしました。また『メイプルストーリーM』(MapleStory M)も前連結会計年度に中国市場に展開したことにより、グローバルでの売上収益が前年同期比で増加いたしました。加えて、『MapleStory Worlds』の正式サービスを4月に韓国で開始し、売上収益への寄与だけでなくメイプルストーリーIPのファン層拡大に貢献いたしました。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』及び『EA SPORTS FC™ MOBILE』においては、過去最高の第3四半期連結累計期間の売上収益を記録した前年同期の高い水準との比較で減少いたしました。

その他の主要タイトルにおいては、7月2日に配信を開始した『The First Descendant』が欧米を中心に好評を博したことから、大きく増収に寄与いたしました。また、昨年12月に配信を開始した『THE FINALS』も増収寄与いたしました。

費用面では、従業員数の増加や定期昇給、好業績による業績連動賞与により人件費が増加したため、売上原価は前年同期比で増加いたしました。販売費及び一般管理費については、従業員数の増加や定期昇給により人件費が増加したものの、プラットフォーム利用料や広告宣伝費の減少により、前年同期比で減少いたしました。その他の費

用は、第1四半期連結会計期間において債務超過の持分法適用会社を連結子会社化し、のれんの減損損失を認識したことにより、前年同期比で増加いたしました。

また、前年同期においては外貨建ての現金預金等が為替差益が発生したものの、当第3四半期連結累計期間では為替差損を認識した結果、税引前四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比で減少いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は366,485百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は125,905百万円(同3.3%減)、税引前四半期利益は154,580百万円(同7.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は102,819百万円(同8.6%減)となっております。

報告セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

① 日本

当第3四半期連結累計期間の売上収益は4,632百万円(前年同期比27.9%増)、セグメント損失は1,892百万円(前年同期は3,511百万円の損失)となりました。

② 韓国

当第3四半期連結累計期間の売上収益は340,612百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は144,383百万円(同0.4%減)となりました。韓国セグメントの売上収益には、子会社であるNEXON Korea Corporationの傘下にあるNEOPLE INC.の中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。

③ 中国

当第3四半期連結累計期間の売上収益は2,382百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は888百万円(同14.6%減)となりました。

④ 北米

当第3四半期連結累計期間の売上収益は13,386百万円(前年同期比30.8%増)、セグメント損失は2,782百万円(前年同期は6,062百万円の損失)となりました。

⑤ その他

当第3四半期連結累計期間の売上収益は5,473百万円(前年同期比475.3%増)、セグメント損失は6,522百万円(前年同期は5,608百万円の損失)となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び資本の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,236,733百万円であり、前連結会計年度末に比べて138,630百万円増加しております。主な増加要因は、営業債権及びその他の債権の増加(前期末比71,945百万円増)及びその他の金融資産の増加(同87,657百万円増)によるものであり、主な減少要因は、その他の預金の減少(同43,187百万円減)によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は231,048百万円であり、前連結会計年度末に比べて39,520百万円増加しております。主な増加要因は、引当金の増加(前期末比11,856百万円増)、リース負債の増加(同10,875百万円増)、未払法人所得税の増加(同5,259百万円増)及び繰延税金負債の増加(同4,754百万円増)によるものであります。

## (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本の残高は1,005,685百万円であり、前連結会計年度末に比べて99,110百万円増加しております。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益計上等に伴う利益剰余金の増加(前期末比40,937百万円増)及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産計上等に伴うその他の資本の構成要素の増加(同40,594百万円増)によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は80.4%(前連結会計年度末は81.6%)となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ16,357百万円増加し、296,872百万円となりました。当該増加には資金に係る為替変動による減少の影響△2,960百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は62,805百万円(前年同期は98,764百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益154,580百万円によるものであり、主な減少要因は、法人所得税の支払額32,840百万円及び営業債権及びその他の債権の増加額70,786百万円によるものであります。前年同期と比べて、法人所得税の支払額が減少する一方で、営業債権及びその他の債権が増加したことにより、営業活動による収入が減少いたしました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は5,687百万円(前年同期は222,445百万円の支出)となりました。主な収入要因は、定期預金の純減少額35,526百万円によるものであり、主な支出要因は、有価証券の取得による支出11,827百万円、拘束性預金の純増加額8,059百万円及び連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出9,191百万円によるものであります。前年同期と比べて、定期預金への預入れが減少したことにより、投資活動による収入が増加いたしました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は49,175百万円(前年同期は51,592百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式の取得による支出39,098百万円及び配当金の支払額10,294百万円によるものであります。前年同期と比べて、自己株式の取得による支出が減少したことにより、財務活動による支出が減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「2024年12月期の連結業績予想」は2024年12月期第3四半期連結累計期間の実績値に第4四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したものととなっております。2024年12月期第4四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける2024年12月期の連結業績予想は、売上収益450,296～461,204百万円(前年同期比6.4%～8.9%増)、営業利益124,562～133,072百万円(同7.6%～1.2%減)、税引前利益157,252～165,762百万円(同24.9%～31.6%増)、当期利益104,477～110,140百万円(同47.0%～54.9%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益103,288～108,964百万円(同46.3%～54.3%増)、基本的1株当たり当期利益123.83～130.63円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。第4四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル=149.69円、100ウォン=11.02円、1中国元=21.19円と想定しております。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移いたします。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円が替が変動した場合、第4四半期連結会計期間は売上収益が約584百万円、営業利益が約61百万円変動するものと当社では推定しております。

第4四半期連結会計期間における売上収益は、主要フランチャイズである『メイプルストーリー』(MapleStory)が前年同期比で減収することを予想しているものの、『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の増収寄与による『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)フランチャイズの成長や『EA SPORTS FC™』フランチャイズの成長を見込んでおります。また、7月2日に配信を開始した『The First Descendant』も、第3四半期連結会計期間に続き増収寄与することを予想しております。その結果、第4四半期連結会計期間の売上収益は、前年同期比で成長することを予想しております。主要フランチャイズ別の予想は以下のとおりです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)では、『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の増収寄与によりフランチャイズ全体の売上収益が二桁成長することを予想しております。『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)においては、第3四半期連結会計期間においてローンチ直後の著しく好調な状況から徐々に売上収益が落ち着いてきました。弱い季節性もあり、第4四半期連結会計期間は前四半期比で売上収益が減少することを見込んでおります。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)では、引き続き前年同期比で減収を見込んでおりますが、ゲーム体験を改善し、長期的な成長と収益性を活性化させていくために、第4四半期連結会計期間に新規コンテンツを投入し、また、大型の旧正月アップデートを2025年度の第1四半期連結会計期間に実施する予定です。

『メイプルストーリー』(MapleStory)では、フランチャイズの売上収益が前年同期比で減少することを予想しております。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、前年同期比で売上収益が減少することを見込んでおりますが、12月に予定している冬季アップデートにより、弱い季節性にも関わらず前四半期比で売上収益が増加することを見込んでおります。一方で、韓国以外の地域においては、ハイパー・ローカライゼーション戦略により、前年同期比で二桁成長することを見込んでおります。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』及び『EA SPORTS FC™ MOBILE』による『EA SPORTS FC™』フランチャイズの売上収益は、前年同期比で二桁成長することを見込んでおります。その結果、2024年度の通期売上収益に関しても、過去最高の売上収益を記録した2023年度に近い水準になることを予想しております。

第4四半期連結会計期間における費用面では、前年同期比で業績連動賞与や従業員数の増加による人件費の増加、『EA SPORTS FC™』の成長によるロイヤリティ費用の増加を見込んでおります。一方で、ロイヤリティビジネスである中国の『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)を除いたモバイル売上収益の減少に伴い、前年同期比でプラットフォーム利用料の減少を見込んでおります。

また、第4四半期連結会計期間において開発中のパブリッシングプロジェクトの終了を決定したことにより、前払ロイヤリティの減損損失65億円を見込んでおりますが、外貨建ての現金預金等で為替差損93億円が発生し、持分法で会計処理されている一部の投資先について減損損失444億円を計上した前年同期との比較で、税引前利益以下各段階利益は増加することを見込んでおります。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んで

いるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

2024年12月期第4四半期の連結業績予想(2024年10月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第4四半期	83,811	△0.9	△1,343	—	2,672	—	441	—	469	—	0.57
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	94,719	12.0	7,167	57.7	11,182	—	6,104	—	6,145	—	7.41

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	280,515	296,872
営業債権及びその他の債権	37,873	109,818
その他の預金	316,243	273,056
その他の金融資産	41,582	46,528
その他の流動資産	13,293	20,209
流動資産合計	689,506	746,483
非流動資産		
有形固定資産	28,854	28,388
のれん	43,924	44,365
無形資産	17,847	23,631
使用権資産	24,000	35,606
持分法で会計処理されている投資	58,120	59,764
その他の金融資産	179,199	261,910
その他の非流動資産	754	1,040
繰延税金資産	55,899	35,546
非流動資産合計	408,597	490,250
資産合計	1,098,103	1,236,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	16,332	16,987
繰延収益	21,065	24,178
未払法人所得税	17,932	23,191
リース負債	5,634	6,920
引当金	11,839	23,498
その他の流動負債	16,572	19,499
流動負債合計	89,374	114,273
非流動負債		
繰延収益	15,207	16,094
リース負債	24,090	33,679
その他の金融負債	1,072	1,154
引当金	325	522
その他の非流動負債	9,711	8,823
繰延税金負債	51,749	56,503
非流動負債合計	102,154	116,775
負債合計	191,528	231,048
資本		
資本金	47,510	49,991
資本剰余金	26,719	29,283
自己株式	△45,046	△33,752
その他の資本の構成要素	159,857	200,451
利益剰余金	707,227	748,164
親会社の所有者に帰属する持分合計	896,267	994,137
非支配持分	10,308	11,548
資本合計	906,575	1,005,685
負債及び資本合計	1,098,103	1,236,733

## (2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	338,779	366,485
売上原価	△102,945	△130,868
売上総利益	235,834	235,617
販売費及び一般管理費	△104,886	△101,529
その他の収益	1,220	642
その他の費用	△1,969	△8,825
営業利益	130,199	125,905
金融収益	43,047	34,879
金融費用	△6,043	△2,570
再評価による損失の戻入	2,360	692
持分法による投資損失	△1,974	△4,326
税引前四半期利益	167,589	154,580
法人所得税費用	△54,383	△50,545
四半期利益	113,206	104,035
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	112,496	102,819
非支配持分	710	1,216
四半期利益	113,206	104,035
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	131.77円	123.06円
希薄化後1株当たり四半期利益	130.83円	122.48円

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	120,256	135,593
売上原価	△35,908	△46,124
売上総利益	84,348	89,469
販売費及び一般管理費	△37,720	△36,384
その他の収益	293	148
その他の費用	△611	△1,698
営業利益	46,310	51,535
金融収益	13,204	8,753
金融費用	△6,294	△20,323
再評価による損失	△822	—
持分法による投資損益 (△は損失)	461	△1,058
税引前四半期利益	52,859	38,907
法人所得税費用	△17,374	△10,211
四半期利益	35,485	28,696
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,167	27,023
非支配持分	318	1,673
四半期利益	35,485	28,696
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	41.28円	32.55円
希薄化後1株当たり四半期利益	41.05円	32.34円

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	113,206	104,035
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	13,381	60,352
確定給付型年金制度の再測定額	△4	1
無形資産再評価益	—	4,626
持分法によるその他の包括利益	△269	691
法人所得税	△3,503	△18,462
純損益に振替えられることのない 項目合計	9,605	47,208
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	51,488	△8,192
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	51,488	△8,192
その他の包括利益合計	61,093	39,016
四半期包括利益	174,299	143,051
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	173,056	141,928
非支配持分	1,243	1,123
四半期包括利益	174,299	143,051

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	35,485	28,696
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△7,300	33,277
確定給付型年金制度の再測定額	△1	6
無形資産再評価益	—	△1,826
持分法によるその他の包括利益	12	△149
法人所得税	1,933	△8,538
純損益に振替えられることのない 項目合計	△5,356	22,770
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	10,020	△58,286
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	10,020	△58,286
その他の包括利益合計	4,664	△35,516
四半期包括利益	40,149	△6,820
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	39,725	△7,849
非支配持分	424	1,029
四半期包括利益	40,149	△6,820

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	38,972	18,331	△16,464	114,012	703,342	858,193	9,353	867,546
四半期利益	—	—	—	—	112,496	112,496	710	113,206
その他の包括利益	—	—	—	60,560	—	60,560	533	61,093
四半期包括利益合計	—	—	—	60,560	112,496	173,056	1,243	174,299
新株の発行	6,499	6,499	—	—	—	12,998	—	12,998
新株発行費用	—	△44	—	—	—	△44	—	△44
配当金	—	—	—	—	△8,579	△8,579	—	△8,579
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△269	—	△269	—	△269
新株予約権の失効	—	—	—	△1	1	△0	0	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	68	—	—	—	68	69	137
自己株式の取得	—	△35	△50,079	—	—	△50,114	—	△50,114
自己株式の処分	—	—	333	△333	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	50,001	—	△50,001	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	628	△628	—	—	—
その他	—	△1	—	—	—	△1	—	△1
所有者との取引額等合計	6,499	6,487	255	25	△59,207	△45,941	69	△45,872
資本(期末)	45,471	24,818	△16,209	174,597	756,631	985,308	10,665	995,973

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	47,510	26,719	△45,046	159,857	707,227	896,267	10,308	906,575
四半期利益	—	—	—	—	102,819	102,819	1,216	104,035
その他の包括利益	—	—	—	39,109	—	39,109	△93	39,016
四半期包括利益合計	—	—	—	39,109	102,819	141,928	1,123	143,051
新株の発行	2,481	2,481	—	—	—	4,962	—	4,962
新株発行費用	—	△18	—	—	—	△18	—	△18
配当金	—	—	—	—	△10,465	△10,465	—	△10,465
株式に基づく報酬取引	—	—	—	403	—	403	—	403
新株予約権の失効	—	—	—	△10	8	△2	2	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	121	—	—	—	121	115	236
自己株式の取得	—	△31	△39,067	—	—	△39,098	—	△39,098
自己株式の処分	—	11	361	△333	—	39	—	39
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1,425	△1,425	—	—	—
所有者との取引額等合計	2,481	2,564	11,294	1,485	△61,882	△44,058	117	△43,941
資本(期末)	49,991	29,283	△33,752	200,451	748,164	994,137	11,548	1,005,685

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	167,589	154,580
減価償却費及び償却費	6,270	7,415
株式報酬費用	3,532	2,554
受取利息及び受取配当金	△17,894	△18,279
支払利息	994	1,541
減損損失	1,666	6,443
再評価による損益(△は益)	△2,360	△692
持分法による投資損益(△は益)	1,974	4,326
持分法で会計処理されている投資の売却損益(△は益)	△126	—
有価証券評価損益(△は益)	△3,273	△8,417
有価証券売却及び償還損益(△は益)	△1,693	△2,240
為替差損益(△は益)	△15,915	1,897
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△15,206	△70,786
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,051	△7,421
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△342	△1,639
繰延収益の増減額(△は減少)	842	5,353
引当金の増減額(△は減少)	△1,577	12,091
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,296	△1,654
損失評価引当金の増減額(△は減少)	4,809	△5,664
その他	291	△957
小計	132,928	78,451
利息の受取額	11,544	15,359
配当金の受取額	3,016	3,363
利息の支払額	△991	△1,528
法人所得税の支払額	△47,733	△32,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,764	62,805
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額(△は増加)	△2,394	△8,059
定期預金の純増減額(△は増加)	△185,915	35,526
有形固定資産の取得による支出	△2,130	△2,461
有形固定資産の売却による収入	28	63
無形資産の取得による支出	△2,048	△1,687
長期前払費用の増加を伴う支出	△296	△753
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出	△14,827	△9,191
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の売却による収入	17,736	10,892
有価証券の取得による支出	△5,965	△11,827
有価証券の売却及び償還による収入	2,186	2,418
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△24,030	△5,286
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	126	—
短期貸付金の貸付による支出	—	△1,468
短期貸付金の回収による収入	10	—
長期貸付金の貸付による支出	△4,587	△1,680
長期貸付金の回収による収入	13	12
その他	△352	△812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,445	5,687

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストック・オプションの行使による収入	9,589	3,398
自己株式の取得による支出	△50,114	△39,098
配当金の支払額	△8,579	△10,294
リース負債の返済による支出	△2,487	△3,221
その他	△1	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,592	△49,175
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△175,273	19,317
現金及び現金同等物の期首残高	409,368	280,515
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	16,080	△2,960
現金及び現金同等物の四半期末残高	250,175	296,872

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に基づき、国際会計基準第34号「期中財務報告」の開示を一部省略しております。)に準拠して作成しております。

(会計方針の変更)

I F R Sにより要求される会計方針の変更

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、当第3四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・債務及び他の負債を流動又は非流動にどのように分類するかを明確化</li> <li>・特約条項付の非流動負債に関して企業が提供する情報を改善するためのもの</li> </ul>
IFRS第16号	リース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セール・アンド・リースバック取引を取引後にどのように会計処理するのかを説明する要求事項を追加するもの</li> </ul>
IAS第7号 IFRS第7号	キャッシュ・フロー計算書 金融商品：開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライヤー・ファイナンスの透明性を増進するための開示要求</li> </ul>

(表示方法の変更)

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に集約して記載しておりました「利息の受取額」及び「配当金の受取額」は、金額的に重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「利息及び配当金の受取額」に表示しておりました14,560百万円は、「利息の受取額」11,544百万円及び「配当金の受取額」3,016百万円に、それぞれ組み替えております。

## (セグメント情報の注記)

## ① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取扱う商品・サービスについて国内においては当社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地ごとの各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

また、当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、PCオンライン、モバイル及びその他に収益を分解表示しております。

## ② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりです。

(第3四半期連結累計期間)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	2,810	230,833	2,417	6,067	941	243,068	—	243,068
モバイル	795	89,449	—	4,161	—	94,405	—	94,405
その他	16	1,278	—	3	9	1,306	—	1,306
外部収益 計	3,621	321,560	2,417	10,231	950	338,779	—	338,779
セグメント間収益	631	4,769	—	888	985	7,273	△7,273	—
計	4,252	326,329	2,417	11,119	1,935	346,052	△7,273	338,779
セグメント利益又は損失 (注1)	△3,511	144,910	1,040	△6,062	△5,608	130,769	179	130,948
その他の収益・費用 (純額)								△749
営業利益								130,199
金融収益・費用(純額) (注5)								37,004
再評価による損失の戻入 (注6)								2,360
持分法による投資損失								△1,974
税引前四半期利益								167,589

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。  
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。  
 3. セグメント利益又は損失の調整額179百万円は、セグメント間取引消去です。  
 4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。  
 5. 金融収益の主な内訳は、為替差益19,779百万円です。  
 6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	3,839	183,557	2,382	10,400	5,453	205,631	—	205,631
モバイル	775	155,770	—	2,969	—	159,514	—	159,514
その他	18	1,285	—	17	20	1,340	—	1,340
外部収益 計	4,632	340,612	2,382	13,386	5,473	366,485	—	366,485
セグメント間収益	971	6,220	—	1,105	1,385	9,681	△9,681	—
計	5,603	346,832	2,382	14,491	6,858	376,166	△9,681	366,485
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,892	144,383	888	△2,782	△6,522	134,075	13	134,088
その他の収益・費用 (純額)								△8,183
営業利益								125,905
金融収益・費用(純額) (注5)								32,309
再評価による損失の戻入 (注6)								692
持分法による投資損失								△4,326
税引前四半期利益								154,580

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、受取利息及び受取配当金18,279百万円です。
6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

(第3四半期連結会計期間)

前第3四半期連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,017	81,065	689	2,448	331	85,550	—	85,550
モバイル	265	32,625	—	1,402	—	34,292	—	34,292
その他	9	403	—	1	1	414	—	414
外部収益 計	1,291	114,093	689	3,851	332	120,256	—	120,256
セグメント間収益	216	1,715	—	420	354	2,705	△2,705	—
計	1,507	115,808	689	4,271	686	122,961	△2,705	120,256
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,359	51,644	217	△1,795	△2,149	46,558	70	46,628
その他の収益・費用 (純額)								△318
営業利益								46,310
金融収益・費用(純額) (注5)								6,910
再評価による損失 (注6)								△822
持分法による投資利益								461
税引前四半期利益								52,859

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額70百万円は、セグメント間取引消去です。

4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。

5. 金融収益の主な内訳は、為替差益6,038百万円です。

6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失です。

当第3四半期連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,452	63,514	521	3,465	1,311	70,263	—	70,263
モバイル	272	64,311	—	217	—	64,800	—	64,800
その他	9	497	—	11	13	530	—	530
外部収益 計	1,733	128,322	521	3,693	1,324	135,593	—	135,593
セグメント間収益	330	2,531	—	424	436	3,721	△3,721	—
計	2,063	130,853	521	4,117	1,760	139,314	△3,721	135,593
セグメント利益又は損失 (注1)	△506	56,027	27	△589	△1,868	53,091	△6	53,085
その他の収益・費用 (純額)								△1,550
営業利益								51,535
金融収益・費用(純額) (注5)								△11,570
持分法による投資損失								△1,058
税引前四半期利益								38,907

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去です。

4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。

5. 金融費用の主な内訳は、為替差損失19,641百万円です。

## ③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりです。

(第3四半期連結累計期間)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	2,924	6,089	41	9,054
韓国	140,506	61,177	1,185	202,868
中国	81,951	3,404	—	85,355
北米及び欧州	7,117	12,389	36	19,542
その他	10,570	11,346	44	21,960
合計	243,068	94,405	1,306	338,779

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州  
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	6,542	7,575	57	14,174
韓国	111,980	40,407	1,131	153,518
中国	51,061	91,613	4	142,678
北米及び欧州	23,208	10,851	92	34,151
その他	12,840	9,068	56	21,964
合計	205,631	159,514	1,340	366,485

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州  
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

(第3四半期連結会計期間)

前第3四半期連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン 百万円	モバイル 百万円	その他 百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,083	2,037	12	3,132
韓国	55,808	19,653	394	75,855
中国	20,943	3,101	—	24,044
北米及び欧州	3,484	5,440	1	8,925
その他	4,232	4,061	7	8,300
合計	85,550	34,292	414	120,256

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

当第3四半期連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン 百万円	モバイル 百万円	その他 百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,376	2,595	17	5,988
韓国	35,634	11,264	410	47,308
中国	12,195	44,961	0	57,156
北米及び欧州	14,227	2,881	80	17,188
その他	4,831	3,099	23	7,953
合計	70,263	64,800	530	135,593

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2024年11月12日の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

① 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上と資本政策の柔軟性を確保するため。

② 取得に係る事項の内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (a) 取得する株式の種類  | 当社普通株式  |
| (b) 取得し得る株式の総数 | 10,000,000株(上限)<br>(2024年10月31日現在の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.2%) |
| (c) 株式の取得価額の総額 | 20,000百万円(上限)   |
| (d) 取得期間       | 2024年11月13日～2025年1月31日  |
| (e) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付   |